

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		3-	1
事業名	財政管理経費		会計 一般	款 2	項 1 目 3
政策	4 持続可能な町の経営ができるために		課名	財政課	
施策	4-1 効率的行財政の運営		係名	財政係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	少子化及び高齢化の進展から、税収の伸び悩みや歳出の内の義務経費の増加により財政は硬直化することが見込まれる。町民が安心して住み続けられるような町政運営を行える、持続可能な健全財政を図る。
事業内容	厳しい財政状況下において、限られた財源を有効に活用するために、予算編成において事業の有効性や優先順位を精査し、より効果的・効率的な予算計上に取り組む。また、財政状況、事業の内容、統一的な基準による財務書類を公表することで予算の透明性を図る。また、行政課題におけるプロジェクトチームを立ち上げ、庁内の横断的な検討についての取り組みを行い、財政健全化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
1	財政力指数	0.748	0.718	0.701		↑	0.900	
2								
3								
4								
5								
			令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			15,123		10,020		13,514	
財源 内訳	直接事業費 A		2,253		1,770		1,766	
	うち一般財源		2,253		1,770		1,766	
人件費 (千円) B			12,870		8,250		11,748	
内訳	一般職員 (人・千円)		1.95	12,870	1.25	8,250	1.78	11,748
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	東員町公共施設等総合管理計画の個別施設計画の更新を反映したシミュレーションを実施し、更新費用の平準化、財源の確保等を検討する。	③取組の課題	公共施設の管理については、物価高騰による東員第一中学校の移転費用や公共施設の長寿命化に係る費用の高騰など、財政への影響を注視していく必要がある。
②R5年度に実施した取り組み	東員第一中学校の移転を含む公共施設の管理が課題になっており、物価高騰を反映させた個別施設計画に基づき財政シミュレーションを更新し、公表を行った。	④今後の改善計画	東員町公共施設等総合管理計画の個別施設計画の更新を反映したシミュレーションを実施し、更新費用の平準化、財源の確保等を検討する。 地方債償還額や地方交付税額の分析によりシミュレーションの精度を上げる。